

2024 年度 ユニフィケーション研修会 報告書

看護連携型ユニフィケーション事業協議会

1. テーマ:「学生にとって学びある臨床実習」について考える
2. 趣旨:ユニフィケーション事業における関係機関(県立中央病院、こころの医療センター、県立大学)の教職員が交流することで関係づくりを行うとともに、双方の立場で考え方や困り事について意見交換し、「学生にとって学びある臨床実習」について考える機会とする
3. 目的:
 - 1)教員と臨床指導者の相互理解と関係づくりができる
 - 2)「学生にとって学びある臨床実習」について考えることができる
4. 場所:島根県立大学 出雲キャンパス ラーニングcommons
5. 日時:令和 6 年 12 月 14 日 13:25~16:30
6. 参加人数:46 名
内訳:県大教員 11 名、県立中央病院 20 名、こころの医療センター6 名、協議会メンバー9 名
7. 内容
 - 1)笑いヨガによる教職員交流会(25 分)
 - 2)意見交換会(ラベルワーク)(75 分)
テーマ「学生にとって学びある臨床実習」
グループ発表(40 分)
 - 3)総括(20 分)
8. まとめ
アンケートの結果より、「学生との実習での関わりに関して悩むことがあったが、研修を通して関わり方の参考になる意見が聞けた。」「学生指導に大切なことが改めて分かった。」などの意見があった。目標達成度は全員が「大いにできた」もしくは「ややできた」と回答しており、全員が研修会を肯定的に捉えていた。意見交換会では、臨床と教育の双方の考えを共有することで、参加者個々が今後の実践に活かせる学びを得ることができた。話しやすい環境で、実習指導に携わる病棟看護師と教員がそれぞれの立場からの考えや思いを共有し「学生にとって学びのある実習」とは何かを考える有意義な研修となった。

